

1. 条件付き確率の定義

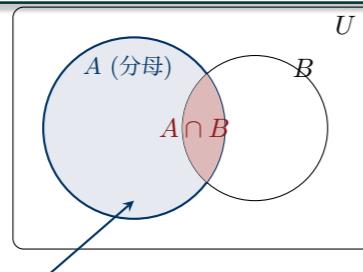
事象 A が起こったという条件のもとで、事象 B が起こる確率を条件付き確率といい、 $P_A(B)$ で表します。

条件付き確率の定義式

$$P_A(B) = \frac{n(A \cap B)}{n(A)} = \frac{P(A \cap B)}{P(A)}$$

【イメージ：分母の縮小】

「全体 U 」ではなく、「 A が起こった世界」を新たな全体と考えます。つまり、分母が $n(U)$ から $n(A)$ に縮小します。



ここ全体 (A) の中で
赤い部分 ($A \cap B$) の割合

例題 1. さいころの条件付き確率

1 個のさいころを投げて、「偶数の目が出る」事象を A 、「3 以上の目が出る」事象を B とする。

- (1) 事象 A が起こったときの事象 B の確率 $P_A(B)$
- (2) 事象 B が起こったときの事象 A の確率 $P_B(A)$

Memo / Answer

2. 「かつ」と「条件付き」の違い

文章表現の違いに注意しましょう。

- $P(A \cap B)$: 「 A かつ B が起こる確率」
→ 全体 U に対する割合。
- $P_A(B)$: 「 A であるとき、それが B でもある確率」
→ A に対する割合。

例題 2. 文章の読み取り

あるクラスの生徒 40 人のうち、男子は 25 人、眼鏡をかけている男子は 10 人である。このクラスから 1 人を選ぶとき、次の確率を求めよ。

- (1) 選ばれた人が、「男子」であり「かつ眼鏡をかけている」確率。
- (2) 選ばれた人が「男子」であったとき、その人が「眼鏡をかけている」確率。

Memo / Answer

Lecture Note : 確率の乗法定理との関係

第 12 回で学んだ乗法定理 $P(A \cap B) = P(A) \times P_A(B)$ は、条件付き確率の定義式の分母を払った形です。

$$P_A(B) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)} \iff P(A \cap B) = P(A) \cdot P_A(B)$$

3. クロス集計表（カルノー図）

「男女 × 眼鏡」「数学好き × 英語好き」のような 2 つの属性が絡む問題では、ベン図よりも表（クロス集計表）を描くのが圧倒的に早くて確実です。

表による解法

- 行と列にそれぞれの属性を配置する。
- 問題文の数値を埋め、縦横の合計から空欄を埋める。
- $P_A(B)$ は、「 A の行（または列）だけを見たときの B の割合」として読み取る。

A \ B	B (男)	\bar{B} (女)
A (眼鏡)	$n(A \cap B)$	$n(A \cap \bar{B})$
\bar{A} (裸眼)	$n(\bar{A} \cap B)$	$n(\bar{A} \cap \bar{B})$

計

- $P(A \cap B)$ は 全体に対する $n(A \cap B)$
- $P_A(B)$ は $n(A)$ に対する $n(A \cap B)$

例題 3. 表を使った計算

ある高校の生徒 100 人を調べたところ、数学が好きな人は 60 人、英語が好きな人は 50 人、両方好きな人は 30 人であった。この中から 1 人選ぶとき、次の確率を求めよ。

- 数学が好きな人が、英語も好きである確率。
- 英語が嫌いな人が、数学は好きである確率。

Memo / Answer

Challenge : 検査の陽性・陰性

「病気に感染している人が陽性と判定される確率」と「陽性と判定された人が実際に感染している確率」は全く別物です。これも表で解決します。

例題 4. 検査キットの信頼性

ある病気 X にかかっている人は全体の 1% である。病気 X を判定する検査キットは、

- 病気の人を正しく陽性と判定する確率が 90%
- 病気でない人を誤って陽性と判定する確率が 10%

であるとする。ある人がこの検査で「陽性」と判定されたとき、その人が実際に病気 X にかかっている確率を求めよ。

Memo / Answer

ヒント：全体を 1000 人（または 10000 人）と仮定して、表（人数）を作るとわかりやすい。

	病気 (1%)	健康 (99%)	計
陽性			
陰性			
計	10 人	990 人	1000 人

Memo / Answer

確認テスト A (基本)

練習 1：条件付き確率の定義

1 から 10 までの番号札から 1 枚引く。引いた札が「偶数」であるという条件のもとで、それが「3 の倍数」である確率を求めよ。

練習 2：男女とスポーツ

あるサークルのメンバーは 40 人で、男子は 25 人、女子は 15 人である。テニス経験者は男子 15 人、女子 5 人である。このサークルから 1 人選ぶとき、次の確率を求めよ。

- (1) 選ばれた人が男子であったとき、テニス経験者である確率。
- (2) 選ばれた人がテニス経験者であったとき、女子である確率。

Memo / Answer

確認テスト B (標準・応用)

練習 3：表の活用

生徒 50 人のクラスで、犬が好きな人は 30 人、猫が好きな人は 25 人、両方好きな人は 15 人である。このクラスから 1 人選ぶとき、次の確率を求めよ。

- (1) 犬が好きでない人が、猫は好きである確率。
- (2) 猫が好きでない人が、犬も好きでない確率。

練習 4：当たりくじの推測

箱の中に当たりくじが 2 本、はずれくじが 8 本入っている。A 君が 1 本引き、戻さずに B 君が 1 本引いた。B 君が「当たりだ！」と言ったとき (B が当たったとき)、A 君も当たっていた確率を求めよ。

Memo / Answer

【解答】確認テスト A

Memo / Answer

1

事象 A: 偶数 $\{2, 4, 6, 8, 10\}$ ($n(A) = 5$) 事象 B: 3 の倍数 $\{3, 6, 9\}$ 共通部分 $A \cap B = \{6\}$
 $(n(A \cap B) = 1)$ 求める確率は $P_A(B)$ なので,

$$\frac{n(A \cap B)}{n(A)} = \frac{1}{5}$$

2

表をイメージする.

	テニス有	テニス無	計
男子	15	10	25
女子	5	10	15
計	20	20	40

(1) 「男子 (25 人)」という条件での割合.

$$\frac{15}{25} = \frac{3}{5}$$

(2) 「テニス経験者 (20 人)」という条件での割合.

$$\frac{5}{20} = \frac{1}{4}$$

【解答】確認テスト B

Memo / Answer

3

表を作成する.

- 犬のみ : $30 - 15 = 15$
- 猫のみ : $25 - 15 = 10$
- 両方なし : $50 - (15 + 15 + 10) = 10$

	猫○	猫×	計
犬○	15	15	30
犬×	10	10	20
計	25	25	50

- (1) 分母は「犬× (20)」. その中で「猫○ (10)」. $\frac{10}{20} = \frac{1}{2}$
(2) 分母は「猫× (25)」. その中で「犬× (10)」. $\frac{10}{25} = \frac{2}{5}$

4

事象 A: A が当たる, 事象 B: B が当たる. 求めるのは $P_B(A) = \frac{P(A \cap B)}{P(B)}$.

- $P(A \cap B) = \frac{2}{10} \times \frac{1}{9} = \frac{2}{90}$
- $P(B)$ は, A が当たり B も当たる + A がはずれ B が当たる. くじ引きの公平性より
 $P(B) = \frac{2}{10} = \frac{18}{90}$. (計算: $\frac{2}{90} + \frac{8}{10} \times \frac{2}{9} = \frac{18}{90}$)

よって,

$$\frac{2/90}{18/90} = \frac{2}{18} = \frac{1}{9}$$